

学校における教育の情報化の実態等に関する調査結果 (概要)

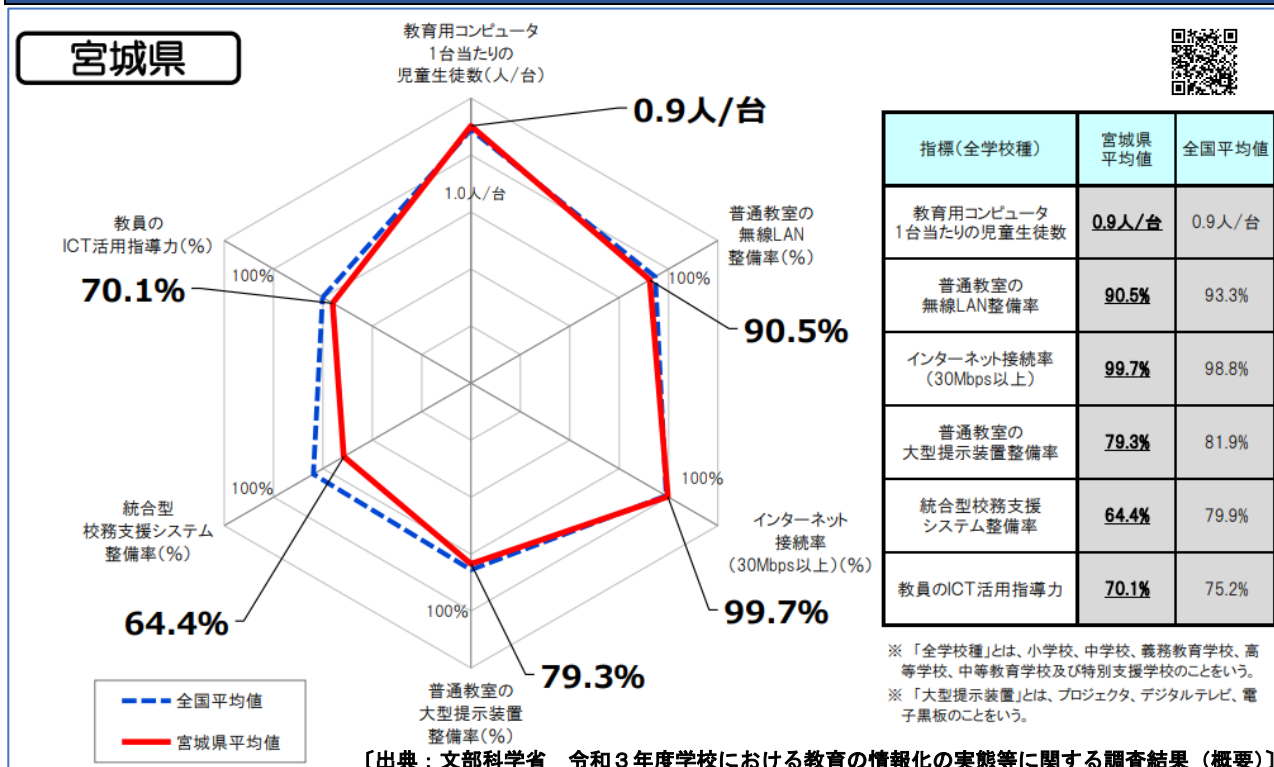


図1 令和3年度学校における教育の情報化の実態等に関する調査結果 宮城県

文部科学省は、初等中等教育における教育の情報化の実態等を把握し、関連施策の推進を図るため、「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」を実施しています。令和4年8月に令和3年度の調査結果(速報値)が公表されました。調査基準日は令和4年3月1日です。宮城県に関する調査結果では、「普通教室の無線LAN整備率」「普通教室の大型提示装置整備率」「統合型校務支援システム整備率」「教員のICT活用指導力」の項目で全国平均値を下回りました(図1)。

また、この調査では、教員のICT活用指導力の状況を4つの大項目ごとにまとめています(表1)。この調査の対象は、全国の公立学校の授業を担当している全教員です。宮城県は、すべての項目で昨年度よりもポイントを伸ばしているものの、全国平均値と比較すると、その差が昨年度から更に広がっています。ICT活用指導力の状況の各項目に関する研修を受講した教員の割合についても同様でした。宮城の教員の皆さん、児童生徒のために、より一層、ICT活用の研修に励んでいきましょう。

表1 「教員のICT活用指導力の状況」に関する大項目と研修を受講した教員の割合

大項目	内容	全国平均値	宮城県平均値
A	教材研究・指導の準備・評価・校務などにICTを活用する能力	87.5%	84.8%
B	授業にICTを活用して指導する能力	75.2%	70.1%
C	児童生徒のICT活用を指導する能力	77.3%	73.5%
D	情報活用の基盤となる知識や態度について指導する能力	86.0%	84.3%
ICT活用指導力の状況の各項目に関する研修を受講した教員の割合		75.8%	71.6%

[出典：文部科学省 令和3年度学校における教育の情報化の実態等に関する調査結果 (概要)]

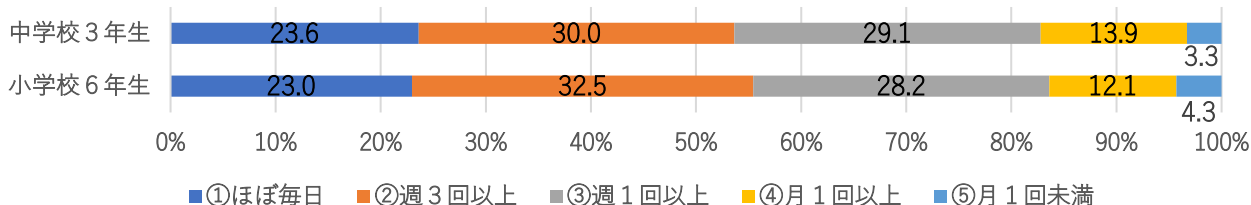
全国学力・学習状況調査の結果が公表されました！

宮城県公式 Web サイトには、学校教育に関する様々な統計データがまとめられています。令和4年4月に実施された全国学力・学習状況調査の結果（速報）が掲載されました。この調査結果には、教科に関するものだけでなく、児童生徒質問紙の回答結果もまとめられています。ICTを活用した学習状況について、今年度の小学校6年生と中学校3年生は以下のように回答しています。「ほぼ毎日」と回答した6年生の割合は全国平均値よりも3.5ポイント低く、中学校3年生の割合は2.9ポイント低くなりました。

必要に応じて、授業の中でICTを効果的に活用していきましょう。



小学校：5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか。
 中学校：1・2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか。
 注） 小学校：N=9,039 中学校：N=9,668 仙台市・国立・私立を除く



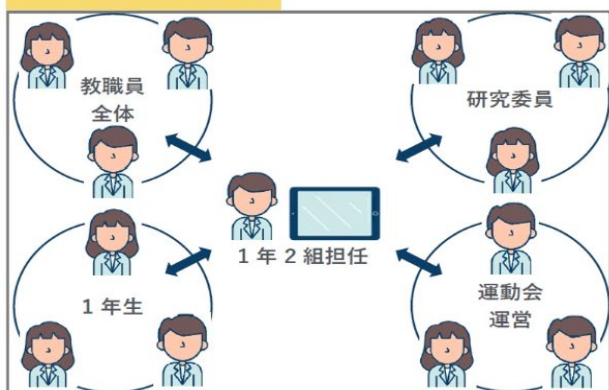
〔出典：宮城県公式 Web サイト 令和4年度全国学力・学習状況調査の宮城県の調査結果報告（速報）〕

校務でICTを活用して働き方改革を！

文部科学省が発行している「GIGA StuDX メールマガジン第26号（最新号）」では、校務の効率化について取り上げています。今回は、「新規採用の先生方必見!!」という見出しで、「業務の情報共有にグループチャットを活用（図2）」「調査の事務作業を効率的に」が掲載されています。学校行事が多く行われるこれからの時期にICTを活用することで、働き方改革につながることも多いと思います。授業だけではなく、校務でも積極的にICTを活用しましょう。



グループごとに情報共有



内容に応じて情報共有

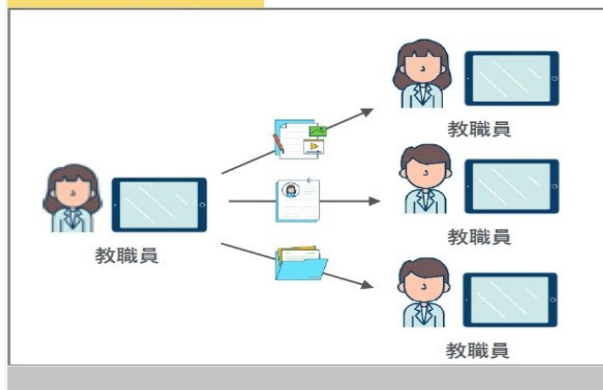


図2 業務の情報共有にグループチャットを活用するイメージ

〔出典：文部科学省 GIGA StuDX メールマガジン〕

編集後記

Mナビ新聞—情報教育通信—第7号はいかがだったでしょうか。今回は、学校における教育の情報化の実態等に関する調査結果をメインにお伝えしました。2期制の学校では、前期のまとめの時期ですね。前期の反省を生かして、後期の教育実践に励みましょう。なお、Mナビ新聞では皆様からのご感想・ご意見・ご要望を募集しております。右記の二次元コードからフォームに記入していただくと幸いです。次号もお楽しみに！（第7号担当：戸羽）

